

事業所名 グループホーム ふるさと

日付 平成 21 年 6 月 18 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士
実務経験10年以上

ホームヘルパー2級
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

グループホーム「ふるさと」は民家が散在する閑静な田園地帯に位置し、周囲には桃の果樹園などもあり、季節の移り変わりを感じることができる。入居者は天気の良い日には清澄な空気の中で田んぼのあぜ道を辿り散歩を楽しんでいる。

建物の内部は広く、居間は天井が高く開放感がある。職員は、チームでの支援ができるよう入居者の日々の様子を細かく記録し、情報の共有化を図っている。また、職員は、入居者一人ひとりに常に言葉をかけたり、入居者の気持ちに添い、入居者が自分の好きなときに好きなところに自由に行けるよう配慮している。

食事は入居者の身体の状態にあわせた調理方法で美味しくいただけるように工夫がされ、入居者はゆったりと落ち着いて食べている。入居者の笑顔が見られ、安心して生活している様子がうかがわれる。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

管理者はグループホーム全体の経営に関わりながら、スタッフの一員として実際に介護業務にも携わるため、少し疲れ気味ではないかと察せられる。管理者は各ユニットの責任者に権限を委譲し、職員の意見を聞きながら、全体的な指示をすることで、もっとチームとしてまとまりが強まるのではないかとと思う。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>認知症という病気があっても、家庭的な環境の中で自信を取り戻し、人間らしくゆったりと穏やかに生活できるように入居者一人ひとりの生活を大切に、その人らしさを引き出して行くことのできるグループホームをめざしている。</p> <p>入居者の自由を束縛することなく、毎日をゆったりと自分のペースで過ごすことが出来るように職員は入居者の気持ちに添って、一緒に生活していくよう努めている。</p> <p>周辺は車も少ないので、天気の良い日は外に出て、自然の中で散歩など楽しんでもらうようにしている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>職員が入居者の側に座って話しを聞くように努めている。入居者がいつでもホームの中を自由に歩けるようにしている。</p> <p>春になったからヨモギ餅を作ろうという入居者の提案があれば、入居者と職員と一緒にヨモギを採りに行き、ヨモギ餅を作ったりもしている。家庭と同じように好きな料理など、本人のできることは本人にできる限り任せている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>場所間違いをする入居者もいるので、他の入居者のプライバシーを守るために、部屋を出たあとに鍵をかけることもある。また、部屋の掃除などで入室の際は、入居者の了承を得てから入室している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>「ヒヤリハット」のインシデントを記録し、層化、分類して原因を分析し、安全委員会で対策について職員同士の話し合いを十分行うようにしている。また、居室にセンサーを設置し、入居者の転倒予防に努めている。</p>		